

# 急性期病院におけるくも膜下出血患者を対象とした 高次脳機能障害スクリーニングによる退院支援の取り組み

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

脳動脈瘤が破れて起こるくも膜下出血では、体の動きが回復しても、注意力や記憶力の低下により、仕事や自動車運転にすぐ戻れないことがあります。特に入院の早い段階から身の回りのことができる方では、こうした問題が見過ごされやすい可能性があります。当院では、発症10日目に生活動作と認知機能を確認し、その結果を退院先（自宅退院/回復期病院への転院）の判断に役立てています。本研究では、この早期検査の結果と退院先の関係、さらに1年後の仕事復帰や運転再開の状況との関連を診療記録から調べ、早期検査がどの程度役立つかを明らかにします。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## 研究の対象となる方

2018年4月～2024年3月に当院で脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血で手術を受けられた方

## 使用する試料・情報

年齢、入院時重症度、発症10日後FIM、発症10日後MoCA-J、退院先、1年後FIM、1年後MoCA-J、1年後就労・自動車運転の再開の有無  
使用開始予定日：2026年2月24日

## 研究予定期間

2026年2月24日～2026年3月31日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 リハビリテーション部 須崎有信  
〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 リハビリテーション部 須崎有信  
住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)